

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月22日更新

事務事業名		発熱外来運営事業						☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり					所属部	健康福祉部	課長名	安武祐次
	施策	1	危機管理・防災対策の推進					所属課	健康づくり推進課	担当者名	坂本みゆき
	基本事業	2	災害時応急対策					所属班	健康推進班	(内線)	2166
予算科目		会計一般	款4	項1	目2	事業連番11429	法令根拠	感染症法	成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ⑥		
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・重症化率の高い鳥由来などの新型インフルエンザが発生し、市内にまん延した場合に開設する合志市立診療所(発熱外来)業務・新型インフルエンザの疑いがある発熱症状のある者のみを診察し、トリージや抗ウイルス剤などの投薬を行う。 ・平成21年度流行した豚由来の新型インフルエンザでは、発熱外来を開設することはなかったが、今後、高病原性ウィルスの新型インフルエンザの発生やインフルエンザウィルスが変異したときの大流行時の対応が危惧される。そのため、流行時に開設がうまくできるように、年1回総合防災訓練のひとつとして、訓練を実施している。
【業務の流れ】	発生前は、医師・看護師との診療に係る契約、備品の購入業務、発熱外来開設準備業務発生後は、合志市立診療所として発熱外来を運営する。医療スタッフの確保、薬剤の購入、診療、処方、診療報酬請求、職員の確保が必要となる。原則8週間開設し、診療時間は午前9時から午後9時までの12時間、ただし4週間に1回は24時間体制の時間外診療が輪番してくる。訓練は、発生時職員で運営を行なうため、職員を対象とした模擬訓練を実施。
【主な予算費目】	報酬、時間外手当、特殊勤務手当、需用費：一般消耗品費・医薬材料費、委託料(開設時) 訓練意においては、予算はなし。職員の時間外については、振り替え休日に対応。
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	平成21年第1、2回定例議会において新インフルエンザに対して一般質問があった。一般市民からは、今年度流行した新型インフルに対しての市の対応や体制についての問い合わせがあった。医師会からは、身分保障について・看護師の確保について・発熱外来設置の意義についての質問があった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動)24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
医薬材料等必要物品の備蓄発熱外来運営マニュアルおよび新型インフルエンザ対策行動計画の作成防災訓練に併せた健康危機管理訓練の実施			
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ア: 医薬材料費の備蓄品目数	種類		
→イ: 開設診療所設置数			
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
新型インフルエンザに罹患した人		→ア: 推計される罹患患者数	
		→イ:	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
罹患患者が診察を受けて重症度に応じた治療を受けることができる。		→ア: 死亡者数	
		→イ:	
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
①活動指標	ア	種類	0	0	10	0	0	0	0	0
	イ									
②対象指標	ア									
	イ									
③成果指標	ア									
	イ									
投 入 費 用 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円							
	(A)事業費計		千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	正規職員従事人数	人	4	9	9	9	9	9	0
		延べ業務時間	時間	95	225	215	507	215	215	0
		(B)人件費計	千円	391	908	868	2,063	868	868	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	391	908	868	2,063	868	868	868	0

事務事業名	発熱外来運営事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	----------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した 豚由来の新型インフルエンザは流行したが、一般の医療機関での診療で診療が行われたため、合志市立診療所（発熱外来）を開設する必要がなかった。訓練のみ実施した。
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 合志市立診療所（発熱外来）として開設した場合は、今年度設定した目標達成見込みと同様とする。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 流行状況に応じた迅速な対応で感染拡大を可能な限り抑制し、死亡者数を最小限に抑えることができる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 菊池保健所・菊池郡市医師会および市町レベルでの検討の結果、各自治体での診療所開設となった。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 新型インフルエンザがまん延した時に、万全の体制が取れるように予算を計上したところである。8週間としているが、まん延期間が長引けば事業費が増額する。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 人件費の積算は、1班16人体制で8週間計上をしている。1班を16人以下にすることは運営上困難である。また8週間以上の開設になった場合人件費は増額する。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 医療機関同様の診療報酬制によるもので、加入保険証の負担割合で個人負担するため、公平性は保たれる。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 菊池保健所は医師会との交渉し輪番を決定する。菊池郡市医師会員の輪番による診療・看護師の確保市での診療所開設

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

類似事業はなく、市民の生命安全保障するための有事の際の事業であるため事業費および人件費の削減を考慮する余地がほとんどない。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可					(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）																									
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																														
					<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
	低下																													

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策